

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号	B1501	事務事業名	小牧山文化事業				事業期間	平成17年度	～	令和8年度以降								
実施計画事業		担当部	健康生きがい支え合い推進部				担当課・担当係	文化・スポーツ課・事業推進課係										
実施計画事業以外の事業	○	分野別計画編	基本 施策	15	展開 方向	1	事業・予算区分	一般事業	款	10	項	5	目	5	大	3	中	3
事業の概要	根拠法令・個別計画	教育振興基本計画					対象 (何・誰を対象に)	市内外の住民										
	目的 (何のために)	<p>薪能に訪れる市内外の方を対象に、史跡小牧山を広くPRするとともに、市民の伝統芸能への理解を深め、文化の振興を図る。</p>					内容 (どのような方法で)	<p>●令和5年度の実施内容 こまき信長夢夜会と同時開催とし、薪能実行委員会へ委託し行った。事前に薪能観賞講座を行っている。当日は展示コーナーを設置したり、FMガイドスレンタルを行うなど薪能を楽しんでもらう工夫を行っている。 なお、令和6年度からは会場設営委託など、市が直営で行っても支障のない部分については市直営とし(会場設営委託については夢夜会と一括して入札を行うことで経費削減を図る)、運営など専門的な知見を必要とする部分について実行委員会への委託とする。</p> <p>●直接経費(令和5年度) 委託料10,456千円</p>										

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R2	R3	R4	R5	R6	
			直接経費	決算額	千円	2,954	1,451	8,859
	財源	一般財源 国・県支出金 その他						
		計(A)	2,954	1,451	8,859	10,456		
		対前年比	—	49.12%	610.54%	118.03%		
		予算額	千円	9,400	9,400	9,400	10,900	10,770
	人件費	正規職員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	
		正規職員(平均賃金)	千円	1,497	1,497	1,497	1,497	
		その他職員	人					
		その他職員(時給×時間)	千円					
		計(B)	千円	1,497	1,497	1,497	1,497	
		事業費合計(C=A+B)	千円	4,451	2,948	10,356	11,953	

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	15	指標名	単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	(一財)こまき市民文化財団などが主催するイベントへの来場者数	人	↗	30,029	33,268		
展開方向	1	2								
		3								

指標	指標ほか		単位		R2	R3	R4	R5	R6	
	成果指標	来場者数	人	目標	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
				実績	400	0	8,000	8,000		
		活動指標	公演回数	回	目標	1	1	1	1	1
					実績	1	0	1	1	
	単位あたり 事業費		受益者数(a)		人	400	0	8,000	8,000	
			受益者あたり事業費(=C/a)		円	11,128		1,294	1,494	

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの				
	事業の達成状況と課題	<p>令和5年度については昨今の物価上昇に伴い会場設営委託費が不足したため、流用にて対応を行った。来場者数は目標値を達成しており需要があることを示している。</p> <p>雨天時は例年市民会館ホールで開催しているが、市民会館ホールの大規模改修工事に伴い令和6年度はまなび創造館あさひホールで開催予定であり、入場者数に制限がかかる可能性がある。</p>	今後の実施内容・今後の改善内容	<p>令和6年度については会場設営委託などの市直営で行える部分については、夢夜会と一括して市直営で入札するなど経費削減に努める。</p> <p>実施については夢夜会と同日開催とすることで、双方のイベントへの来場者の増加につながるよう調整して開催していく。</p>			
	改善の有無	無		千円	節	細節	細々節
これまでの改善内容			事務事業額評価				

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

		評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	文化・芸術に触れるために必要な事業である。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある	毎年来場をしていた方にたいして影響が出る。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	削減の余地がある	令和6年度より会場設営委託を市直営とし、夢夜会と一括して発注することで経費の削減を図る。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	同上
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	誰でも無料で見られるものとして夢夜会と供に開催しているため、参加費は徴収していない。